

高知工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	特別研究(ME)
科目基礎情報					
科目番号	7151		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 4	
開設学科	機械・電気工学専攻		対象学年	専1	
開設期	通年		週時間数	4	
教科書/教材	指導教員から指示があります。				
担当教員	赤崎 達志, 赤松 重則, 今井 一雅, 岩崎 洋平, 榎本 隆二, 岡村 修司, 奥村 勇人, 岸本 誠一, 北村 一弘, 芝 治也, 高田 拓, 武内 秀樹, 竹島 敬志, 谷澤 俊弘, 土井 克則, 中田 祐樹, 中山 信, 長門 研吉, 永橋 優純, 西内 悠祐, 宮田 剛, 山口 巧, 吉田 正伸, 小崎 裕平				
到達目標					
<p>1. 必要な期間で研究活動が行われ、困難を乗り越える努力がなされ、またグループにおける共同研究の場合はチームワークが取れている。</p> <p>2. 研究の背景が正しく理解されており、課題に関連する文献調査もなされていて、目的が明確に記述されている。</p> <p>3. 研究目的を達成するために、手段・手法を考えて問題解決に取り組み、成果が得られる。</p> <p>4. 口頭発表に発表（プレゼンテーション）において、わかりやすく資料等をまとめることができ、わかりやすく伝え理解を得ることができ、質問にも答えることができる。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
到達目標1	必要な期間で適切な研究活動が行われ、困難を乗り越える十分な努力がなされ、またグループにおける共同研究の場合はチームワークが適切に取れている。	必要な期間で研究活動が行われ、困難を乗り越える努力がなされ、またグループにおける共同研究の場合はチームワークが取れている。	必要な期間で研究活動が行われず、困難を乗り越える努力が見られない。またグループにおける共同研究の場合はチームワークが取れない。		
到達目標2	研究の背景が正しく理解されており、課題に関連する広汎な文献調査もなされていて、既往の研究等が適切に引用されている。目的も明確に記述されている。	研究の背景が正しく理解されており、課題に関連する文献調査もなされていて、目的が明確に記述されている。	研究の背景が正しく理解されておらず、課題に関連する文献調査もなされていない。また目的が明確に記述されていない。		
到達目標3	研究目的を達成するために、自らが創意・工夫と努力により問題解決に取り組み、十分な成果が得られる。	研究目的を達成するために、手段・手法を考えて問題解決に取り組み、成果が得られる。	研究目的を達成するための成果は得られているもの、手段・手法は必ずしも適切でない。		
到達目標4	口頭発表に発表（プレゼンテーション）において、明瞭でわかりやすい資料等をまとめることができ、わかりやすく伝え十分理解を得ることができ、質問にも的確に答えることができる。	口頭発表に発表（プレゼンテーション）において、わかりやすく資料等をまとめることができ、わかりやすく伝え理解を得ることができ、質問にも答えることができる。	口頭発表に発表（プレゼンテーション）において、わかりやすい資料等をまとめることができず、十分理解を得ることができなかった。また質問にも的確に答えることができなかった。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	研究を通じて専門的な知識を深めるとともに、課題解決能力を身に付ける。また、その研究結果を自ら論文にまとめるとともに口頭発表を行い、プレゼンテーション能力を高めさせる。				
授業の進め方と授業内容・方法	指導教員のもとで研究を進める。月1度程度ゼミを行い、研究時間や進捗状況について指導教員等が確認し、アドバイス等を行う。				
注意点	論文（報告書）の査読および発表の審査は専攻担当教員全員で行い、全員の協議により可否を決定する。論文（報告書）の査読および発表の聴講より、論理的な記述力、課題への取り組み、発表や質疑応答の的確性を審査し、主体的かつ継続的に研究に取り組む能力、計画的に仕事を遂行しまとめる能力、課題解決能力およびプレゼンテーション能力の程度を総合的に評価する。指導教員評価、論文評価2分野、発表評価の合計4分野において各々5段階評価を行い、指導教員評価、論文評価2分野平均点、発表評価の3分野それぞれ3.0以上を合格とする。論文の査読に関する評価は、学習・教育到達目標（F）の評価基準とし、発表による評価は学習・教育到達目標（E）の評価基準とする。				
授業計画					
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標		
前期	1週	上記の到達目標を達成するため、各指導教員の指導のもとで自ら研究を進める。	課題解決のために研究計画を立てることができる。		
	2週	特別研究	課題解決のために研究計画を立てることができる。		
	3週	特別研究	課題解決のために研究計画を立てることができる。		
	4週	特別研究	課題解決のために研究計画を立てることができる。		
	5週	特別研究	課題解決のために研究計画を立てることができる。		
	6週	特別研究	課題解決のために研究計画を立てることができる。		
	7週	特別研究	課題解決のためにデータを分析して論理的に説明できる。		
	8週	特別研究	課題解決のためにデータを分析して論理的に説明できる。		
	9週	特別研究	課題解決のためにデータを分析して論理的に説明できる。		
	10週	特別研究	課題解決のためにデータを分析して論理的に説明できる。		
	11週	特別研究	課題解決のためにデータを分析して論理的に説明できる。		
	12週	特別研究	課題解決のためにデータを分析して論理的に説明できる。		
	13週	特別研究	課題解決のためにデータを分析して論理的に説明できる。		
	14週	特別研究	課題解決のためにデータを分析して論理的に説明できる。		
	15週	特別研究	課題解決のためにデータを分析して論理的に説明できる。		
	後期	1週	特別研究	研究で得られた結果を整理し、文献等を参考に考察・検証できる。	
2週		特別研究	研究で得られた結果を整理し、文献等を参考に考察・検証できる。		

3週	特別研究	研究で得られた結果を整理し、文献等を参考に考察・検証できる。
4週	特別研究	研究で得られた結果を整理し、文献等を参考に考察・検証できる。
5週	特別研究	研究で得られた結果を整理し、文献等を参考に考察・検証できる。
6週	特別研究（中間発表会の準備）	研究で得られた結果を整理し、文献等を参考に考察・検証できる。
7週	特別研究（中間発表会の準備）	研究で得られた結果を整理し、文献等を参考に考察・検証できる。
8週	特別研究（中間発表会の準備）	研究で得られた結果を整理し、文献等を参考に考察・検証できる。
9週	特別研究（中間発表会の準備）	研究で得られた結果を整理し、文献等を参考に考察・検証できる。
10週	特別研究（中間発表会の準備）	研究で得られた結果を整理し、文献等を参考に考察・検証できる。
11週	特別研究（中間発表会の準備）	研究で得られた結果を整理し、文献等を参考に考察・検証できる。
12週	特別研究（中間発表会の準備）	研究で得られた結果を整理し、文献等を参考に考察・検証できる。
13週	特別研究（中間発表会の準備）	発表（プレゼンテーション）において、わかりやすく資料等をまとめることができる。
14週	特別研究（中間発表会の準備）	発表（プレゼンテーション）において、わかりやすく資料等をまとめることができる。
15週	特別研究（中間発表会の準備）	発表（プレゼンテーション）において、わかりやすく資料等をまとめることができる。
16週	特別研究中間発表会	発表（プレゼンテーション）において、わかりやすく伝え理解を得ることができる。また、研究内容についての質問に答えることができる。

#### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	論文	合計
総合評価割合	0	50	0	0	0	50	100
基礎的能力	0	20	0	0	0	20	40
専門的能力	0	20	0	0	0	20	40
分野横断的能力	0	10	0	0	0	10	20